

第22回

すぎなみ

本の帯 アイデア賞



すぎなみ
本の帯 アイデア賞

杉並区子ども読書活動推進計画に基づいて、平成16年度に創設された「すぎなみ本の帯アイデア賞」は、その目的を子どもたちが本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知ることとしています。

22回目を迎えた今年度は、全体の応募作品数が549点になりました。

どの作品も、「この本が大好き」「この本をみんなにも読んで欲しい」という想いやそれぞれの想像力、創作力にあふれ、また社会情勢を反映したものもあり、大変な力作揃いであると感じました。

今年度の審査会において、「本の帯アイデア大賞」をはじめ「コピー賞」「ビジュアル賞」「特別賞」「アイデア賞」の計20点を受賞作品として選び、この冊子で紹介しています。この中から興味を持った本を手にとって、新たな読書につながることを願っています。

最後に、ご多用の中、受賞作品の選考においてご助言をいただきましたコラムニストの泉麻人さん、コピーライターの松塚しのぶさん、絵本作家のいしかわこうじさん、本事業の実施にあたりご理解・ご協力をいただきました出版社の皆様、学校司書をはじめ学校関係者の皆様に心より感謝申し上げます。引き続き、子どもたちの読書活動に惜しみないご支援をいただければ幸いです。



令和8年1月

杉並区立中央図書館長
出保 裕次



目次

本の帯アイデア大賞***** せかいでいちばんつよい国 山本 真士 小1……………2 *****

本の帯コピー賞*****

バスをおりたら・・・	林 和毅	小4……………3
絵で読む 広島原爆	山口陽菜子	小5……………3
野生のロボット	森田 夏帆	中2……………4

本の帯ビジュアル賞*****

見えなくても だいじょうぶ?	和氣 桜音	小5……………4
きみの声を聞かせて	浅井 優菜	中3……………5
囚われのアマル	榎本 碧乃	中3……………5

本の帯特別賞*****

毒図鑑	池田 明莉	小6……………6
-----	-------	----------

アイデア賞*****

ステゴサウルス	佐久間海成	小1……………7
すごいゴミのはなし	佐藤 美織	小4……………7
てんぐ、はなをかむ。	二宮 永登	小4……………8
すてきなひとりぼっち	橋本 咲良	小4……………8
サンタクロースと 小人たち	半澤 双翼	小4……………9
トットちゃんの15つぶのだいず	安田 咲	中1……………9
悪い本	山口 凜音	中1……………10
きみの話を聞かせてくれよ	北川 瑞穂	中2……………10
レモンの図書室	嶋田 幸恵	中2……………11
死ぬまで使わない日本語	立岩ゆずか	中2……………11
透明なルール	毛利 咲茉	中2……………12
赤の他人だったら、どんなによかったか。	一瀬乃々果	中3……………12

講評***** 泉 麻人(コラムニスト) / 松塚 しのぶ(コピーライター) / いしかわ こうじ(絵本作家)……………13

本の帯
アイデア大賞



やまもと まな と
山本 真士 (小1)

国というもののしくみや人間社会の権力のことなども描かれた、オトナも読める絵本をよく取りあげました。
何より「せんそうしないで」という素直なコピーとその字体が強いインパクトを与えています。(評・泉)



せかいでいちばんつよい国
デビッド・マッキー / 作
なかがわちひろ / 訳
光村教育図書

本の帯 コピー賞

バスをおりたら・・・
小泉るり子／作・絵
ポプラ社

はやし かずき
林 和毅(小4)

学校の帰り道に一人でバスに乗った少年の話。いつもと違う景色に気づいて、ドキドキしながら「帰らなくっちゃ 帰らなくっちゃ」と焦る思いをコピーにしたのですね。大冒険になるストーリーを説明するのではなく、少年の思いを代弁したすごくいい視点です。この本を読んで！と引き込むチカラのあるコピーです。(評・松塚)



絵で読む 広島原爆
那須正幹／文
西村繁男／絵
福音館書店

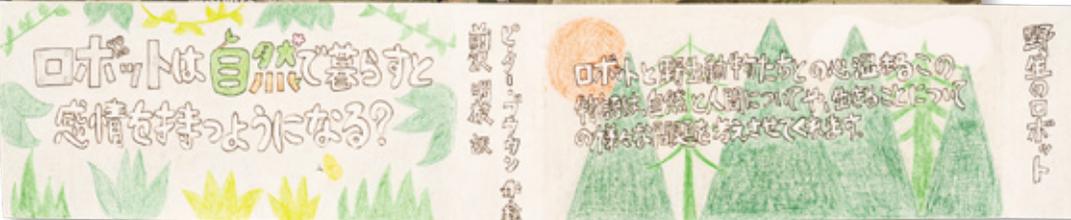
やまぐち ひなこ
山口 陽菜子(小5)

たった一発の原爆で
人々の未来をうばった
あすもないで
十四万人の命

「忘れないで十四万人の命」というコピー。これは原爆投下後3ヶ月以内に亡くなった方の数です。裏面の「たった一発の原爆で人々の未来をうばった」というコピーと共に、平和を願う強いメッセージが込められています。山口さんの胸が締め付けられるような思いも伝わってきます。世にも恐ろしいこの惨事の歴史などがひと目でわかる一冊。みんなに読んでほしいですね。(評・松塚)



野生のロボット
ピーター・ブラウン／作・絵
前沢明枝／訳
福音館書店



もりた かほ
森田 夏帆(中2)

「ロボットは自然(の中)で暮らすと感情を持つようになる?」と問いかけるコピー。嵐の後、無人島に流れ着いたロボットが生きていくために、野生動物と交流しながら学んでいく物語です。ロボットの变化を想像させて、どんなことが起きるのかなという思いにつなげる、とても上手なコピー。帯に描かれている絵も素敵です。(評・松塚)

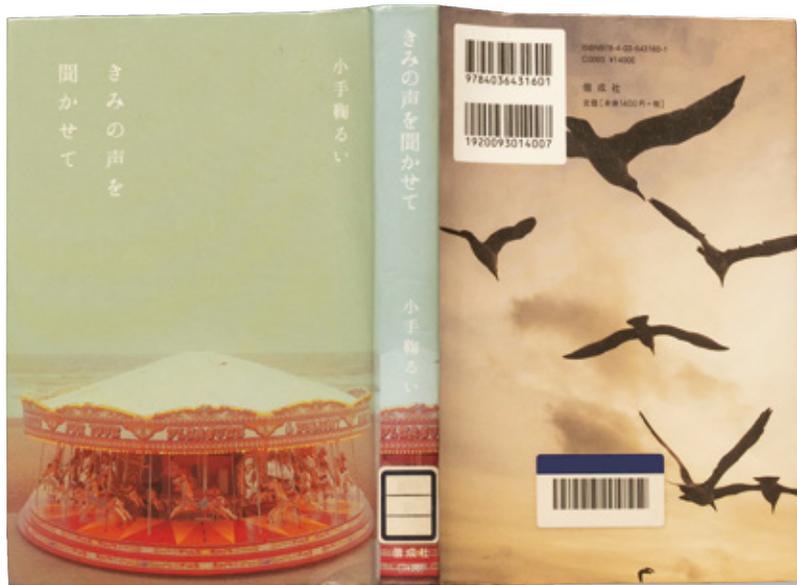


わき もね
和氣 栞音(小5)

迷子になった女の子が、目が不自由なおにいさんにたすけてもらうお話。穴のあいたメガネの帯から、おにいさんと女の子の絵が見えているデザインがすばらしい。この絵本の表紙をデザインした人もびっくりのアイデアですね!(評・いしかわ)



見えなくても だいじょうぶ?
フランツ＝ヨーゼフ・ファイニク／作
フェレーナ・バルハウス／画
ささきたづこ／訳
あかね書房



あさ い ゆ な
浅井 優菜(中3)

「海を渡る風」という文字が発端になる、日本の少女とアメリカの少年の詩と音楽の交換を描いた本です。グレーが基調の表紙に、あざやかでみずみずしい海のイラストレーションの帯がよく映えますね。帯の上端がギザギザにしてあるのもとってもいい味を出していると思います。(評・いしかわ)



きみの声を聞かせて
小手鞠るい／著
偕成社



えのもと あお の
榎本 碧乃(中3)

ジェンダー(社会的性別)をテーマにしたおはなしです。黒いバックに赤いバラを配した美しいデザインに、「あきらめたら、何も変わらない」のコピーが力強く響きました。本を読みたくなりますね！(評・いしかわ)

囚われのアマル
アイシャ・サイド／作
相良倫子／訳
さ・え・ら書房



本の帯
特別賞



いけだ あかり
池田 明莉(小6)

ユニークな本の選択に加えて、帯に描かれた「毒のある動物」のイラストもおもしろい。とくにウナギ(たぶん)につぶやかせた毒のあるフレーズにグッときました。(評・泉)



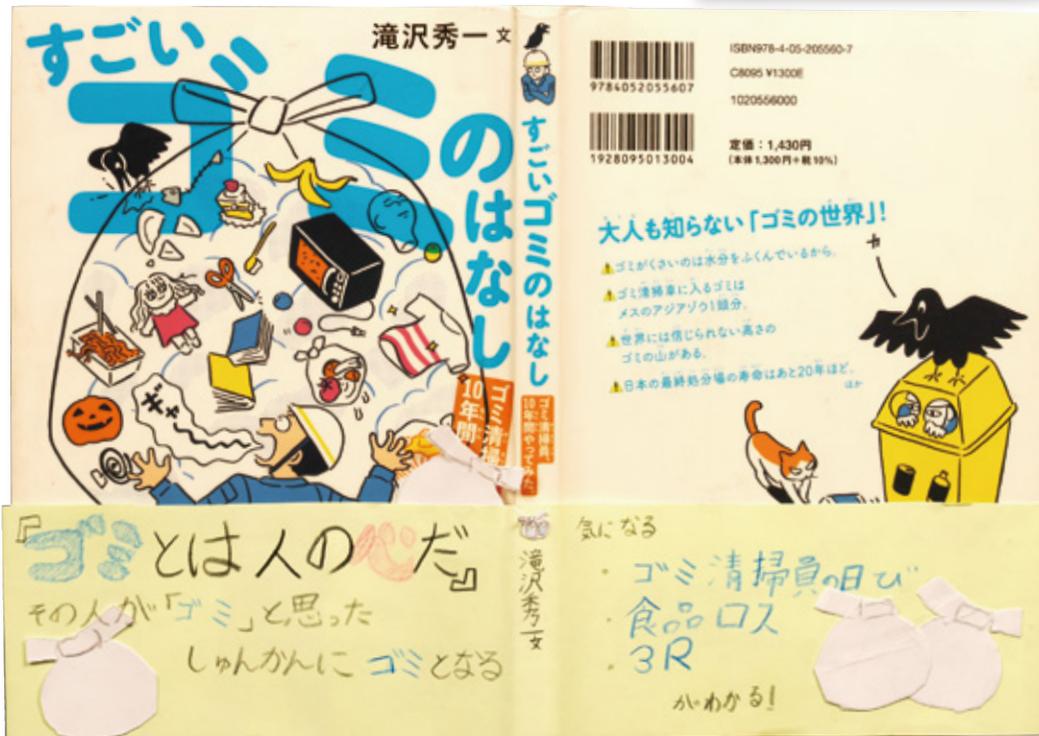
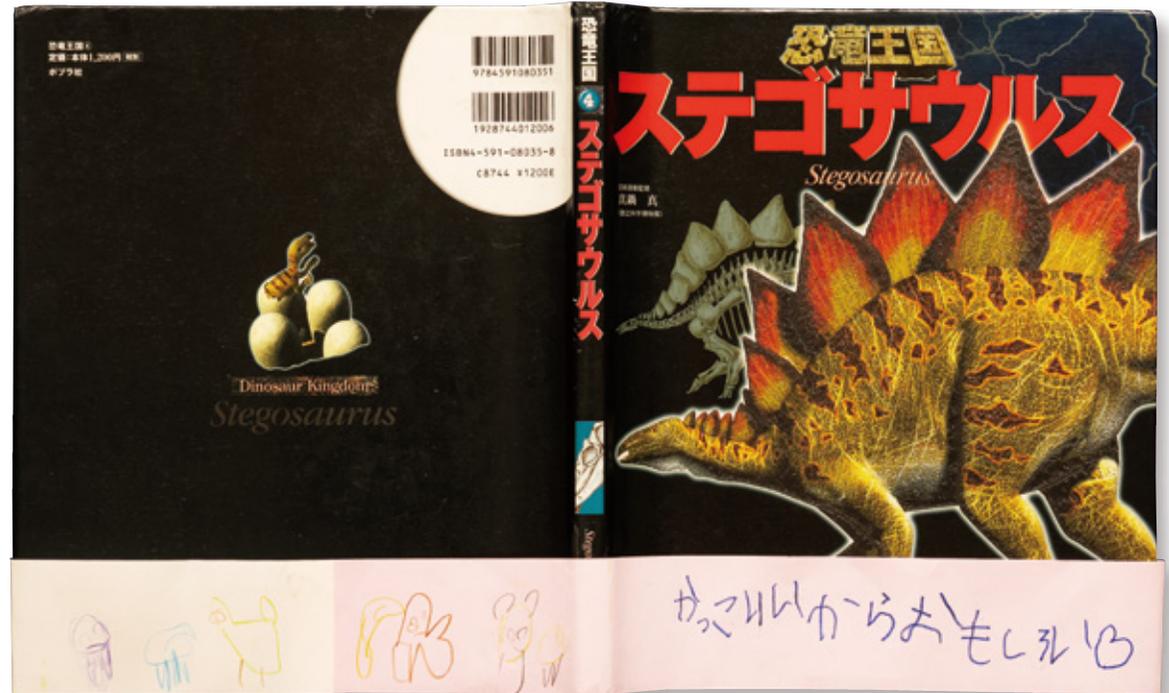
毒図鑑
生きていくには毒が必要でした。
丸山貴史／著
国立科学博物館／監修
幻冬舎

本の帯
アイデア賞



さくま かいせい
佐久間 海成(小1)

恐竜王国(4) ステゴサウルス
ファビオ マルコ ダラ ヴェッキア/文
真鍋真/監修
ポプラ社



さとう みおり
佐藤 美織(小4)

すごいゴミのはなし
ゴミ清掃員、10年間やってみた。
滝沢秀一/文
スケラッコ/イラスト
萩原まお/イラスト
Gakken

本の帯
アイデア賞



にのみや えいと
二宮 永登(小4)

てんぐ、はなをかむ。
平田昌広／作
平田景／絵
国土社



はしもと さくら
橋本 咲良(小4)

すてきなひとりぼっち
なががわちひろ／作
のら書店



はんざわ ふたば
半澤 双翼(小4)

サンタクロースと 小人たち
マウリ=クンナス/作
稲垣美晴/訳
偕成社



やすだ さき
安田 咲(中1)

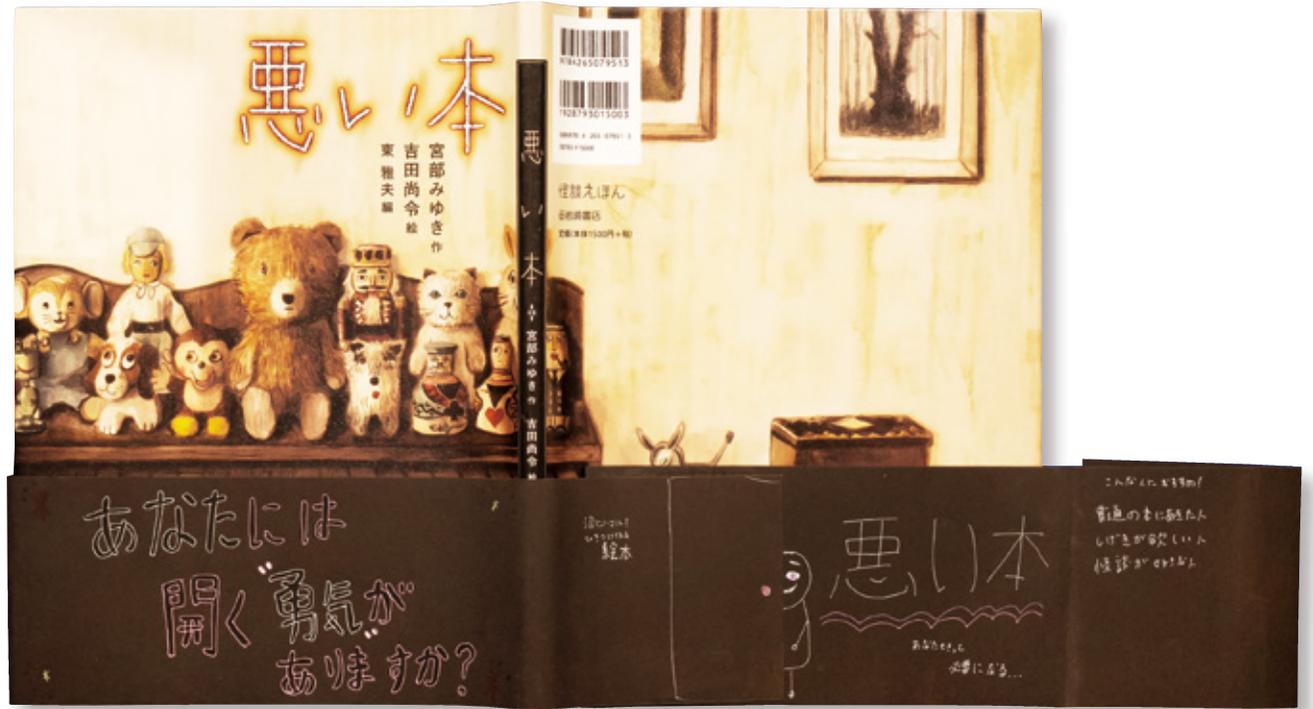
トットちゃんの15つぶのだいず
黒柳徹子/原案
柏葉幸子/文
松本春野/絵
講談社

本の帯
アイデア賞



やまぐち り お
山口 凛音(中1)

怪談絵本 I 悪い本
宮部みゆき / 作
吉田尚令 / 絵
東雅夫 / 編
岩崎書店



きたがわ みずほ
北川 瑞穂(中2)

きみの話を聞かせてくれよ
村上雅郁 / 作
カシワイ / 絵
フレーベル館



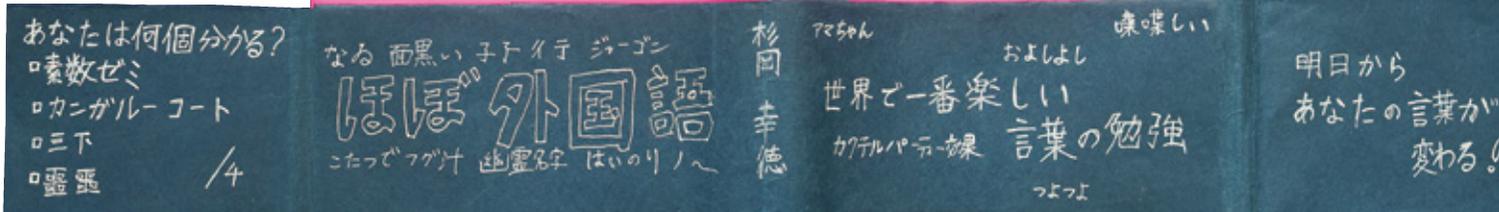
しまだ さえ
嶋田 幸恵(中2)

レモンの図書室
ジョー・コットリル／作
杉田七重／訳
小学館



たていわ
立岩 ゆずか(中2)

死ぬまで使わない日本語
杉岡幸徳／著
フォレスト出版





もうり えま
毛利 咲菜(中2)

透明なルール
佐藤いつ子/著
KADOKAWA



いちせ ののか
一瀬 乃々果(中3)

赤の他人だったら、どんなによかったか。
吉野万理子/著
講談社





泉 麻人 (コラムニスト)

このパンフレットに紹介された受賞作品をごらんのとおり、今回はとくに女子の健闘が光りました。すぐれたコピー、印象的なヴィジュアル…魅力的な本の帯がいちいちとありました。ただし、せっかく良いコピーを書いているのに、字が乱暴だったり、色が重なって読みにくかったり、見せ方に工夫が欲しいものが目につきました。本を手に取りのお客さんの気持ちになって、わかりやすい字や絵を描くことを心がけましょう。



松塚 しのぶ (コピーライター)

500点以上の応募作品を一つひとつ丁寧に読みました。力作揃いでしたが、中には「おもしろいよ」とか「読んでみて」のようなコピーもありました。おもしろさを伝えたいと思う本に出会えたら、どうしたら伝わるかを徹底的に何度も考えて、練りに練ってください。コピー賞の3点以外にも、コピーが光る作品がたくさんありました。受賞作を参考にしながら、来年も素敵な作品づくりに挑戦してください。楽しみにお待ちしています。



いしかわ こうじ (絵本作家)

子供たちが自分の好きな本のために作った帯には、意外なアイデアや、美しい造形、心に響くキャッチコピーが輝いていて感動しました。気持ちの籠った本の帯には、その本を思わず手に取りたくなる力がありますね！ここ数年、「物体としての本の素晴らしさ」が見直されてきていると感じます。本は、人類が作りだした最も偉大な発明のひとつ。子どもたちと一緒に、本を読み、本を愛でる文化を育てていけたら、と思います。

■ 審査会委員 ■

審査会会長

生涯学習担当部長

武井 浩司

審査会委員

済美教育センター所長

古林 香苗

中央図書館長

出保 裕次

■ 審査に協力して下さった方 ■

泉 麻人 (コラムニスト)

松塚 しのぶ (コピーライター)

いしかわ こうじ (絵本作家)

*掲載の帯作品はすべて「第22回すぎなみ本の帯アイデア賞」のために創作された作品です。

一般書店等で流通・販売されている本に、この帯はかけてありません。

*作品対象の本の表紙等のデザインは、発行年により異なる場合があります。

*当作品集への表紙等掲載の許諾は、現在の著作権者より頂いております。

*このパンフレットの複製・複写・転用・配布はお断りいたします。

第22回 すぎなみ

本の帯アイデア賞

令和8年1月発行

編集・発行 杉並区立中央図書館

〒167-0051 杉並区荻窪3丁目40番23号

TEL.(03)3391-5754

